

- 01 編集方針
- 02 トップメッセージ
- 03 東海理化 プロフィール
- 04 東海理化 製品紹介

環境報告 Environment Report

05 環境活動の取組み事項

特集 1

- 07 大幅な軽量化を実現した
先進的なシフトレバー

特集 2

- 08 長寿命性と信頼性を追求した
ストップランプセンサー

特集 3

- 09 地域連携と伝統技術から
産まれた竹ハンドル

- 11 低炭素社会の構築

- 16 循環型社会の構築に向けた取組み

- 18 環境保全と自然共生社会の構築

- 21 環境経営

社会性報告 Social Report

- 26 コンプライアンス・社員行動指針

- 27 社員との関わり

- 30 社会との関わり

- 31 お客様との関わり

- 32 仕入先様との関わり

- 33 環境取組みプラン実績

- 34 ●第三者意見 杉山 範子特任准教授
●「環境・社会報告書2014」を読んで

編集方針

本報告書は東海理化グループ環境および社会性に関する活動を報告し、ステークホルダーの皆さまとのより良いコミュニケーションを図ることを目的に作成しています。できるだけ具体的かつ、その効果がわかるような報告内容とすることを心がけるとともに、編集・デザインに関しては、文章や色づかいに配慮するほか、文字フォントとしてユニバーサルデザインフォントを採用するなど、読みやすさに配慮しています。

また報告書の客観性・信頼性向上のために「第三者意見」を掲載しました。今年度は名古屋大学の杉山範子特任准教授に依頼し、その結果をP.34に掲載しています。

▶ 対象範囲

株式会社東海理化および東海理化グループの取組みを報告しています。

▶ 対象期間

2013年4月1日～2014年3月31日

※活動の理解を深めるものとして、一部2014年4月以降の活動や計画も記載しています。

▶ 対象読者

お客様、仕入先様、株主様、社員、地域社会など、当社と関わりのある全てのステークホルダーの皆さま。

▶ 参考ガイドライン

- 環境省「環境報告書ガイドライン2012年度版」
- GRI「サステナビリティレポーティングガイドライン（第3版）」

本報告書に掲載しているデータについては、最新のデータ（2013年度末時点）に見直しております。（過去の報告書に掲載したデータとは異なる場合があります。）

環境・社会報告書は 4つのツールで構成されています

環境・社会報告書 2014

2013年度の
環境・社会性の活動を詳しく
ご紹介している年次報告書です。

ダイジェスト版

東海理化の環境・社会性の
取組みをわかりやすく
ご紹介している情報の入り口です。

エコデータファイル 2014

環境に関わる
より詳しいデータ資料を
ご紹介しています

ホームページ

<http://www.tokai-rika.co.jp>

東海理化の事業活動から製品情報、
過去の環境活動、IR活動（経済性報告）
などを紹介していきます

本誌の発行・環境活動についてのお問い合わせ

株式会社東海理化 施設環境部
〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
TEL (0587) 95-9002 (直通) FAX (0587) 95-1261

自然、地域と共生する 企業をめざして

株式会社東海理化
取締役社長

牛山雅彦



当社グループは人とクルマのより良いコミュニケーションをつくり出す製品の製造・販売を行う自動車部品のグローバルサプライヤーとして、世界14カ国に拠点を設け事業を展開しております。

2013年度は、日本、欧米でも景気の回復傾向が継続し、新興国の一部では成長の鈍化があるものの、世界全体では緩やかな回復となり、当社の業績もリーマンショック以前とほぼ同水準まで回復してきております。ただ一方で、これまで積み上げてきた技術力・現場力だけでは、グローバル競争の中で生き残れないような、自動車部品産業を取巻く早くて激しいビジネス環境の変化が迫っています。1月には東北技術開発センターを新組織とし、2、3世代先のクルマを見据えた基礎研究と開発を円滑に推し進める体制を整えました。ヒューマンインターフェースの進化を先取りする技術の開発を進めることで、タッチパネルや画像認識を用いた直感的な操作が可能な次世代コックピットの具体化をめざしています。

環境活動については2011年度より第5次環境取組みプランを定め、活動を開始しており、2013年度は全ての項目において目標を達成することができました。私たちの事業活動は、クルマの新しい価値を創造し続ける反面、CO₂の排出や廃棄物の発生などにより地球環境に負荷を与え続けており、環境は安全と同様に生産活動の基盤となる重要な要素と捉え、全社一丸となって取り組んでおります。とりわけ法令順守と環境事故の未然防止は良き企業市民としてステークホルダーの皆さまに信頼していただき、持続的に事業活動を展開する上では基本となる取組みと考えています。各工場長が

現場のリスク箇所を定期的に点検、対策状況を確認することで着実な改善活動を継続する体制を整えております。

自動車部品メーカーとしてエコカー対応製品の開発にも取り組んでおります。本報告書の特集で紹介しておりますが、当社の主力製品であるシフトレバーとスイッチで信号方式を変えることにより従来品に比べ大幅な軽量化と長寿命化を達成しております。今後も次世代エコカーを見据えた技術開発を加速してまいります。

また、当社は2012年に世界で初めて高知県産の竹でできたステアリングホイールを開発・製品化しました。これにより地域資源の有効活用や里山保全に貢献するだけでなく、伝統技術の継承や地域雇用の創出効果も産み出しています。こちらについても特集として掲載しておりますので、ぜひお読みください。

社会貢献活動では、ステークホルダーの皆さまの信頼に応える活動を行うとともに双方向のコミュニケーション活動にも力を入れております。特に社員が安心して働ける職場をつくることは地域との良い関係を築く上でも重要なことと考え人事方針のもと社員のやりがい・働きがいを引き出す諸制度の整備や、家族との絆を深める職場見学会を継続して開催しております。

今後も東海理化グループは、社員一人ひとりが「自然、地域と共生する企業をめざして」というスローガンを胸に、事業を行うあらゆる地域で欠かすことのできない存在、オンリーワンな企業集団としてステークホルダーの皆さまの期待に応える活動を展開してまいります。どうぞこれまで以上のご支援・ご指導をお願い申し上げます。

経営理念

1. お客様に喜ばれる商品を創造し、豊かな社会づくりに貢献する
2. 個性とチャレンジ精神を尊重し、若さと夢あふれた企業をめざす
3. 社会の一員として、法と倫理を遵守し自然・地域と共生する企業をめざす